



～礼儀と節度を考える～

平成武師道

〈人間活動学〉

『智』

何故、地球はあるのだろうか？
何故、人間はいるのだろうか？
ある日、夜空を見上げてみた。
雲ひとつない夜空に無数の星が輝いていた。
無意識に吸い込まれていく美しさに時間が止まる。
なんてちっぽけな存在なんだろう。
人間なんて。
あの無数に輝く星がある所ってどんなのか。
本やテレビでは見た事がある。
だけど実際にはこの目では見た事はない。
知識はいっぱい転がっている。
でも行きたいとは思いが行こうとは思わない。
行ってみたいとわからない事がいっぱいある。
行ってみたい。
まずは調べる事から始めよう。
いっぱい、いっぱい学んでみよう。
必ずあそこに行くんだ。
そして、人間は宇宙（そら）に行った。
今までわからなかった事が形になった。
いつのまにか地球も変わった。
地球だけが星ではない。
人間は星と星の懸け橋をするのかな。
知識から得たものは多い。
そしてそこから恵みを得る。

人から人。
人から地球。
そしていつかは宇宙に。
知識が智恵に変わるとき。
新しい何かが生まれてくる。
もっと学んでみよう。
そして形にするんだ。
それが喜びにつながっていけば。
夜空に輝く星は、喜びを待っている。
知から智へと。



希哉